

- 問1 奈良時代の平城京を中心とした国づくりにおいて、仏教の力で国の不安を取り除こうとする「鎮護国家」の思想に基づき、全国に国分寺・国分尼寺を建て、東大寺に大仏を造立した天皇は誰ですか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
1. 聖武天皇 2. 藤原道長 3. 天智天皇 4. 聖徳太子
- 問2 東大寺正倉院に収められている宝物の特徴と、その背景について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 遣唐使の派遣などを通じて、西アジアや中央アジアの文化がシルクロード経由で伝わったことを示す国際的な品々が多い。 2. 平氏の全盛期に、瀬戸内海の海上交通の安全を祈願して各地から集められた、華やかな装飾品や武器が中心である。 3. 室町時代の足利義政が収集した、禅宗の影響を強く受けた水墨画や茶器など、簡素で気品のある品々が収められている。 4. 遣隋使が持ち帰った、中国の隋の時代の仏像や経典を中心に、日本独自の国風文化の影響を受けた品々が収められている。
- 問3 701年に制定された大宝律令に基づき、国家が土地と人民を管理するために6年ごとに作成した、人々の氏名・年齢・身分などを記録した台帳の名称として正しいものを選択してください。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 万葉集 2. 戸籍 3. 日本書紀 4. 風土記
- 問4 奈良時代の平城京跡などからは、当時の様子を伝える多くの木簡（もっかん）が出土しています。これらの木簡には、地方から送られた「生蘇（乳製品）」などの品名や送り元の地名が記されており、荷札のような役割を果たしていたことが分かっています。このように、各地の特産物を中央政府へと納める律令制の租税を何といえますか。 (2023年 京都府公立入試 類似)
1. 租 2. 雑徭 3. 庸 4. 調
- 問5 710年に現在の奈良県に建設された都は、当時の中国の王朝であった唐の都をモデルにして設計されました。この都の名称と、モデルとなった都市の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 平城京 - 隋 2. 平安京 - 長安 3. 平城京 - 長安 4. 藤原京 - 洛陽
- 問6 奈良時代の政治と文化について述べた次の文のうち、内容が正しいもの一つ選べ。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 桓武天皇は、仏教勢力の政治介入を避けるために都を平安京へ移し、全国に国分寺を建立した。 2. 推古天皇は、聖徳太子の補佐を受けて仏教を厚く保護し、地方の豪族に命じて国分寺を建立させた。 3. 聖武天皇は、仏教によって国家の安泰を願うため、平城京に東大寺を建立し、全国に国分寺を設けた。 4. 天武天皇は、律令国家の仕組みを整えるとともに、仏教を広めるため行基を大僧正に任じて大仏を造らせた。
- 問7 奈良時代、743年に出された「墾田永年私財法」では、それまでの「三世一身の法」で定められていた期限付きの土地所有ルールが大きく変更されました。この法令によって、新しく開墾した土地の所有権はどのような形で認められるようになったか、最も適切なものを選びなさい。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
1. 開墾した本人の一代に限って認められる 2. 開墾から一定期間が経過した後は、再び国に返還される 3. 子、孫、ひ孫の三代に限って認められる 4. 期限を定めず、永久に私有することが認められる
- 問8 奈良時代、日本の僧からの要請を受け、遣唐使の船を利用して5度の渡航失敗や失明という苦難を乗り越えて来日した唐の僧侶は誰ですか。来日後は正式な仏教のルールである「戒律」を伝え、後に唐招提寺を建立しました。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. 最澄 2. 行基 3. 鑑真 4. 空海
- 問9 奈良時代の国際交流の様子を伝える東大寺の正倉院について、その立地や建築上の特徴、および歴史的背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 愛知県公立入試 類似)
1. 平城京の中央に位置する石造の頑丈な建物であり、唐から招かれた僧である鑑真が持ち込んだ仏教の経典や儀式道具が厳重に保管されている。 2. 東大寺の南側に隣接する寝殿造の建物であり、律令に基づいて地方から税として送られてきた布や特産物を分配するために活用された。 3. 平城京の西側に位置する書院造の建築物であり、遣隋使によってもたらされた大陸の最新の法制度や政治に関する文書が管理されている。 4. 東大寺の北西に位置する校倉造の高床式倉庫であり、シルクロードを経由して西アジアなどからもたらされた国際色豊かな品々が収蔵されている。
- 問10 743年に出された墾田永年私財法が、その後の日本の社会に与えた影響や背景について、正しい説明はどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 公地公民の原則を強化し、すべての土地を国が管理する仕組みを徹底させた。 2. 土地の永久私有が認められたことで、貴族や寺社が大規模な私有地である「荘園」を形成するきっかけとなった。 3. 開墾した土地は三世代に限り私有が認められたが、それ以降は国に返還することとされた。 4. 農民に等しく土地を配分する班田収授の法が、この法令によってより確実に実施されるようになった。
- 問11 律令時代の人民の負担のうち、口分田を与えられたすべての人々に課され、収穫した稲の約3%を納める税を「租」といいます。この「租」と、当時行われた「男子を女子と偽る不正（偽籍）」の関係について述べた文として、適切なものはどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 租は男子にのみ課される最も重い負担であったため、女子と偽ることで納税を完全に回避できた。 2. 租は男女ともに課される負担であったため、戸籍上で性別を偽っても逃れることはできなかった。 3. 租は女子にのみ課される布などの特産物の負担であったため、男子を女子と偽る動機となった。 4. 租は都へ行って働く労役の負担であったため、女子と偽ることで地方に留まることが可能になった。
- 問12 班田収授法のもとで行われた、人々と土地の関係や税の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与え、収穫した稲の一部を「租」として納めさせた。 2. 農民を5人一組の集団に編成し、年貢の納入に対して連帯責任を負わせた。 3. 武士に対して領地を与え、その代わりに軍役や奉公の義務を負わせた。 4. 土地の所有権を認め、地価の3%を現金で納めさせた。
- 問13 重要文化財（建造物等）の指定件数に関する統計において、東京都や京都府に次いで全国3位の約1500件を記録している県があります。世界最古の木造建築物である法隆寺などの古い寺院が数多く存在し、かつて日本の政治の中心地であった歴史を持つこの都道府県はどこですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
1. 大阪府 2. 和歌山県 3. 滋賀県 4. 奈良県

## 答え合わせ・解説

|     |                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 1<br>聖武天皇                                                               | 奈良時代、社会の混乱や伝染病の流行が続くなか、仏教の力によって国家を安定させようという政策がとられました。この政策を推進したのが聖武天皇であり、皇后である光明皇后とともに仏教を厚く信仰し、都の東大寺に巨大な大仏を建立しました。聖徳太子は飛鳥時代、天智天皇（中大兄皇子）は公地公民を定めた大化の改新、藤原道長は平安時代の摂関政治の人物です。                                                                    |
| 問2  | 答え 1<br>遣唐使の派遣などを通じて、西アジアや中央アジアの文化がシルクロード経由で伝わったことを示す国際的な品々が多い。            | 奈良時代は遣唐使が頻繁に派遣され、唐の文化とともに、さらに西方のペルシアやインドの様式を取り入れた文物が日本に流入しました。正倉院に伝わる「螺鈿紫檀五絃琵琶（らでんしたんのごげんびわ）」や「白瑠璃碗（はくるりのわん）」などは、当時の日本がユーラシア大陸の東の終着点として、国際色豊かな天平文化を形成していたことを象徴しています。                                                                         |
| 問3  | 答え 2<br>戸籍                                                                 | 大宝律令によって、国家が人民を確実に把握するための仕組みが整えられました。この台帳に基づいて、6歳以上の男女には「口分田」が与えられ、その代わりに税を納める義務が課されました。選択肢にある『風土記』は地方の地理や伝承をまとめたもの、『万葉集』は日本最古の歌集であり、台帳ではありません。                                                                                              |
| 問4  | 答え 4<br>調                                                                  | 律令制のもとで成人男性に課せられた租税のうち、各地の特産物（繊維製品、水産物、加工品など）を中央政府へ納める義務を「調」と呼びます。平城京跡などから出土した木簡は、実際に全国各地から多様な産物が都へ届けられていたことを示す重要な歴史的証拠となっています。なお、田地の面積に応じて米を納めるものは「租」、都での労役の代わりに布を納めるものは「庸」です。                                                              |
| 問5  | 答え 3<br>平城京 – 長安                                                           | 710年に元明天皇によって遷都された平城京は、当時の国際都市であった唐の長安を模範として造られました。この都を拠点に政治が行われた約80年間で奈良時代と呼びます。選択肢にある隋は唐の前の王朝であり、平安京は794年に遷都された別の都です。                                                                                                                      |
| 問6  | 答え 3<br>聖武天皇は、仏教によって国家の安泰を願うため、平城京に東大寺を建立し、全国に国分寺を設けた。                     | 国分寺の建立や東大寺の大仏造立は、奈良時代の聖武天皇による事績です。桓武天皇は平安時代の始まりを築いた天皇であり、行基は聖武天皇の時代に民衆への布教や大仏造立への協力で活躍した僧侶です。推古天皇は飛鳥時代の天皇であり、時代背景や政策の主体を正確に区別する必要があります。                                                                                                      |
| 問7  | 答え 4<br>期限を定めず、永久に私有することが認められる                                             | 奈良時代中期、人口の増加にともなう食糧不足を解消するため、政府は土地の開墾を奨励しました。723年の「三世一身の法」では、開墾した土地の私有を三代に限定して認めていましたが、期限が近づくと人々が土地を放置する問題が発生しました。そこで743年に「墾田永年私財法」を制定し、開墾地の所有権を期限なしで「永久」に認めることにしました。これにより開墾が促進されましたが、一方で貴族や寺社が広大な私有地（初期荘園）を形成するきっかけとなり、公地公民の原則が崩れる要因となりました。 |
| 問8  | 答え 3<br>鑑真                                                                 | 当時の日本では、僧侶になるための公的な基準が曖昧であり、税を逃れるために勝手に僧を名乗る者が増えるなどの問題がありました。そこで、唐から正式な「戒律」を授けることができる高僧として招かれたのが鑑真です。彼は度重なる遭難で視力を失いながらも、不屈の精神で来日を果たし、日本の仏教制度の整備に大きく貢献しました。                                                                                   |
| 問9  | 答え 4<br>東大寺の北西に位置する校倉造の高床式倉庫であり、シルクロードを経由して西アジアなどからもたらされた国際色豊かな品々が収蔵されている。 | 天平文化を象徴するこの施設は、東大寺の広大な敷地の中でも北西に位置しています。建築様式である「校倉造」は、柱を使わずに断面が三角形の材木を組み合わせて壁を作る手法で、通気性を保ちつつ保存に適した環境を作り出していました。収蔵品にはペルシャ製のガラス器など当時の高度な国際交流を示す品が多く含まれており、奈良時代の文化の広がりを証明しています。                                                                  |
| 問10 | 答え 2<br>土地の永久私有が認められたことで、貴族や寺社が大規模な私有地である「荘園」を形成するきっかけとなった。                | 墾田永年私財法は、新しく開墾した土地の「永久私有」を認めるものでした。この制度を利用して、財力のある貴族や大きな寺社が農民を使って大規模な開墾を進めた結果、私有地である「荘園（初期荘園）」が各地に誕生しました。これは、すべての土地と人民は国家のものであるとする「公地公民」の原則が崩れていく大きな要因となりました。                                                                                |
| 問11 | 答え 2<br>租は男女ともに課される負担であったため、戸籍上で性別を偽っても逃れることはできなかった。                       | 「租」は口分田の面積に応じて課される税であり、男女の区別なく負担する義務がありました。人々が男子を女子と偽った主な目的は、男子にのみ課せられていた「調（特産物）」「庸（労働の代納）」「雑徭（地方での労役）」といった、より負担の大きい税や労働から逃れるためでした。したがって、性別を偽っても「租」の負担自体を消すことはできませんでした。                                                                      |
| 問12 | 答え 1<br>戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与え、収穫した稲の一部を「租」として納めさせた。                        | 律令制のもとでは、政府は戸籍を作成して人々の性別や年齢を把握しました。6歳以上になると男女ともに口分田が与えられ、死ぬまでその土地を耕作する権利が認められる代わりに、収穫量の約3%にあたる稲を税として負担する義務がありました。                                                                                                                            |
| 問13 | 答え 4<br>奈良県                                                                | 奈良県は、7世紀から8世紀にかけて平城京が置かれるなど、日本の政治や文化の拠点として栄えた歴史があります。そのため、当時の高い建築技術を伝える法隆寺などの歴史的建造物が数多く現存しており、重要文化財の指定件数が非常に多いことが特徴です。                                                                                                                       |